

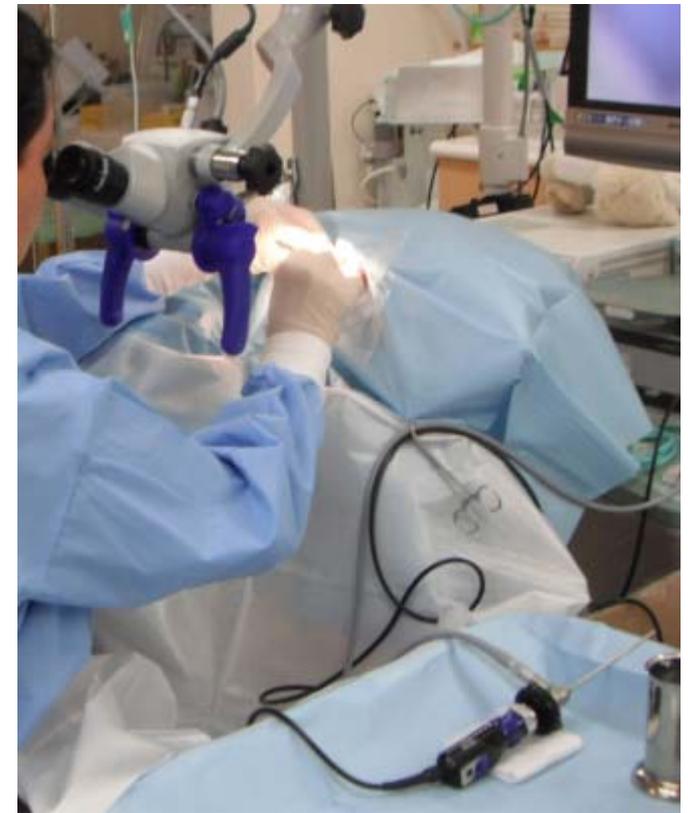
**当院における
おもな中耳疾患の診療実績**

**おひさま耳鼻咽喉科
五十嵐 良和**

1 鼓膜形成術(接着法)の実績



**内視鏡(Storz)と顕微鏡(Carl Zeiss PICO)を
併用して 手術施行
耳後部皮下組織は顕微鏡下に採取**



手術記録

最近は

1耳後部皮下組織採取

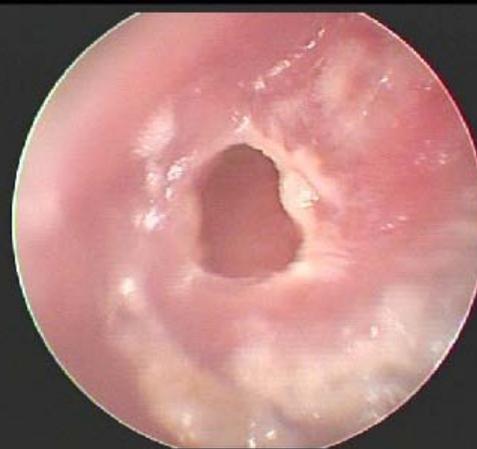
2穿孔辺縁トリミング

3グラフト接着

の順に施行

手術成績を上げる目的

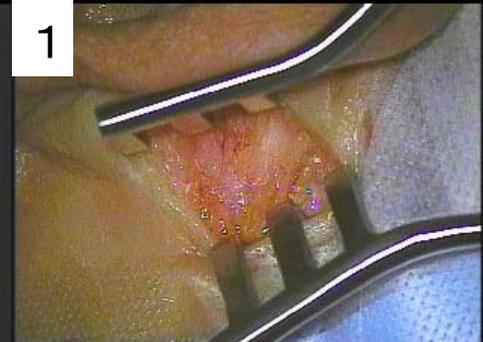
でフィブラストを使用



2



3



フィブラスト

耳後部から皮下組織を三枚採取
(二枚を冷凍保存)
ナイロン糸で3針縫合

鼓膜穿孔辺縁をピックでトリミングし
止血
フィブラスト(上皮化促進剤)に浸した
皮下組織を鼓膜の鼓室側に挿入
外耳道側へ盛り上がるように留置

フィブリン糊で接着して終了

治療成績

手術件数 15
術後補修 7
6耳に保存グラフト使用

一次閉鎖率 47%(7/15)

最終閉鎖率 87%(13/15)
(2例は小穿孔を経過観察)



術後



1ヶ月後
穿孔再発



保存グラフトと
テルダーミスで補修



完成(3ヶ月目)

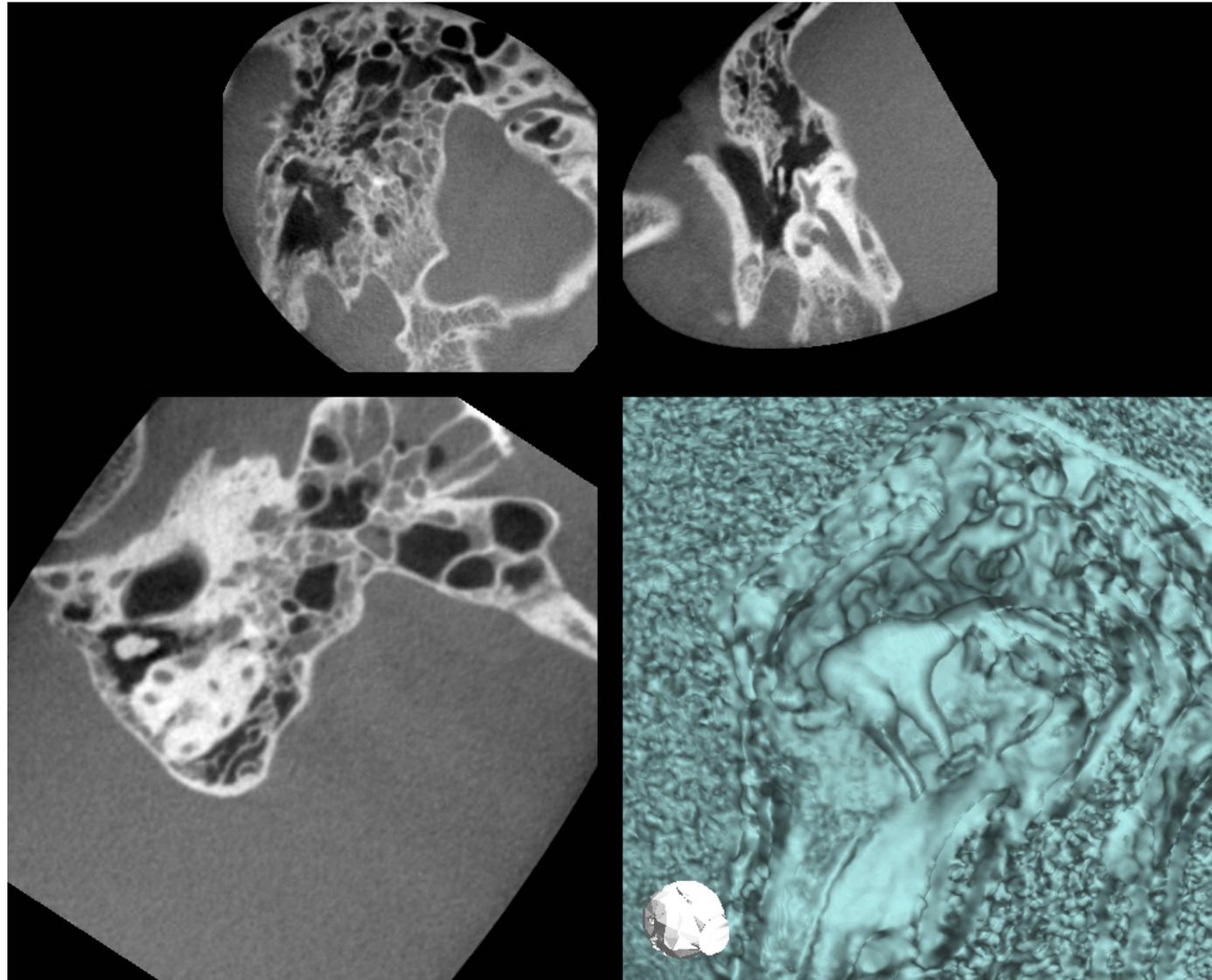


3ヶ月後 完成

2 中耳CT検査施行症例を検討



モリタ
3D Accuitomo



中耳CT 診断内訳

	症例数
慢性中耳炎(鼓膜穿孔)	33
真珠腫(疑い含む)	16
乳突洞炎	9
アブミ骨固着症(疑い含む)	7
鼓室硬化症(疑い含む)	7
中耳手術 術後	6
高位静脈弓症	2
中耳奇形疑い	1
外リンパ瘻疑い	1
中耳鼓膜外傷	1



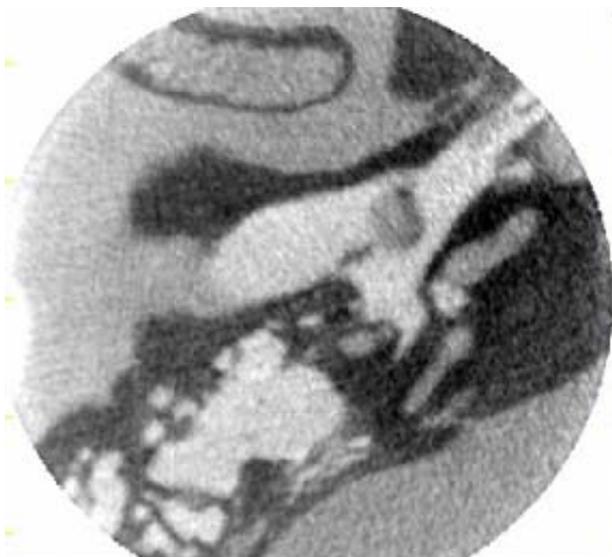
3 真珠腫の治療内訳

			当院	紹介
一次性真珠腫 (弛緩部・緊張部)		7	1	新潟市民 4
				慈恵医大 1
				上越病院 1
二次性真珠腫 (鼓膜穿孔に合併)		2	1	新潟市民 1
先天性真珠腫	鼓室	2		新潟大学 1
				新潟市民 1
	鼓膜	1	1	
外耳道真珠腫		4	4	

経外耳道アプローチが可能な症例は当院で治療

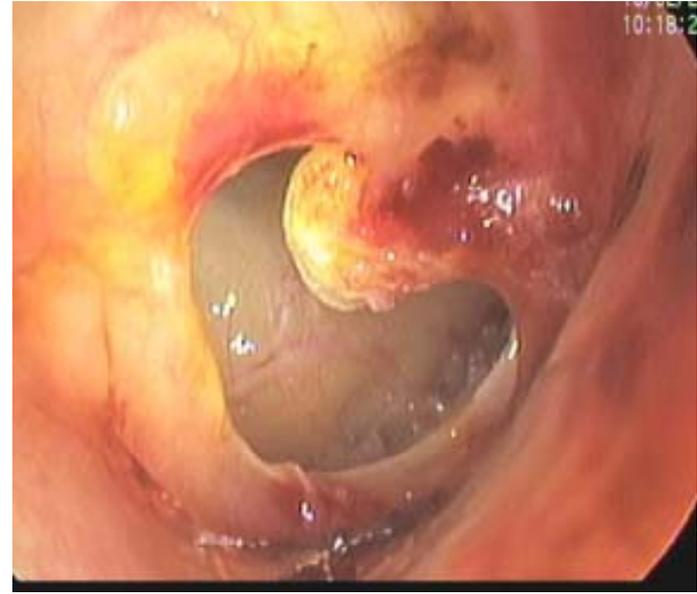
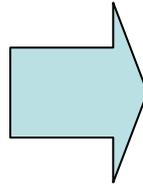
4 当院で治療した真珠腫症例

二次性真珠腫 58歳 女性

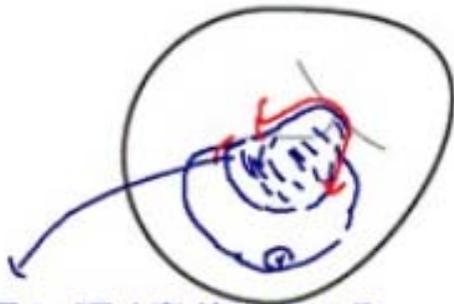


鼓膜穿孔周囲に
二個の真珠腫病変

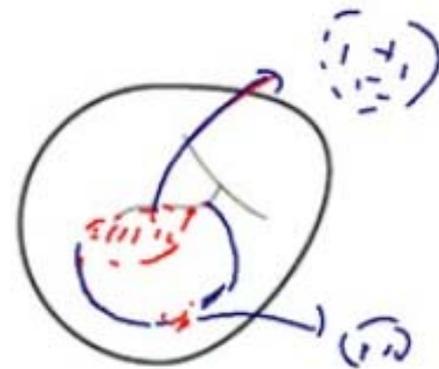
摘出術



鼓膜麻酔 シェーファインピックで切開



つち骨に硬く癒着している

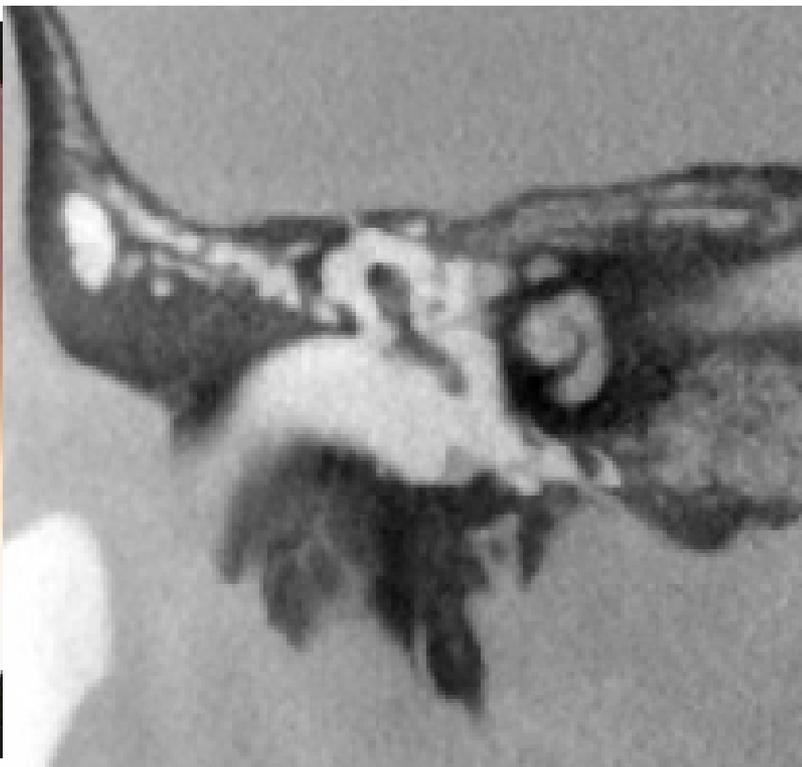
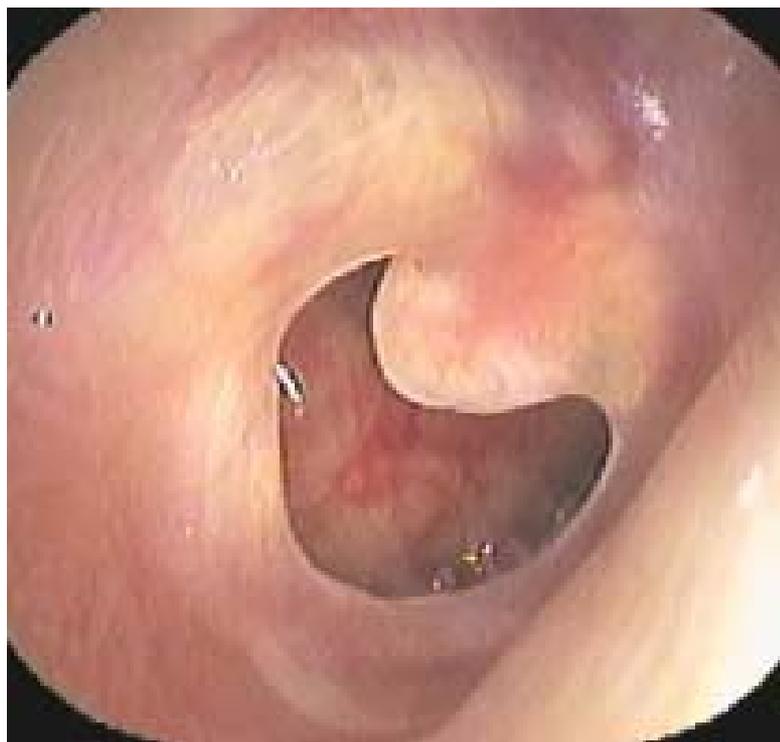


貝殻のように硬い大小二個の腫瘤(真珠腫?)を切除摘出

術後

鼓膜所見

C T



再発所見なし

鼓膜真珠腫(先天性?) 生後7ヶ月 男

初診 H23(2011)年7月

主訴 1ヶ月前から断続する左耳漏

鼓膜所見 両側中耳炎

耳漏培養でインフルエンザ菌検出



鼓膜所見の経過

左耳漏停止後

鼓膜表面に真珠腫様病変を確認

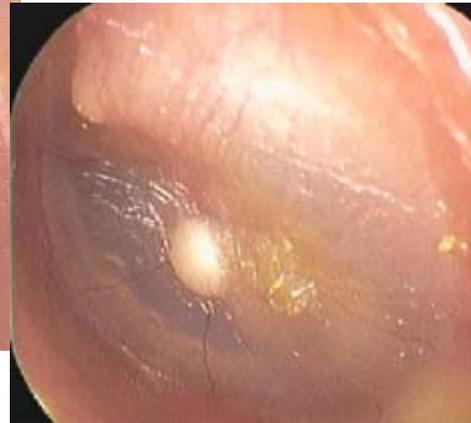
時間経過とともに徐々に増大



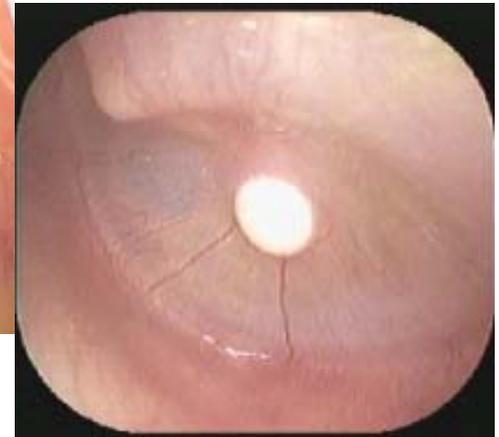
8月



9月



12月



翌年1月

鼓膜真珠腫として摘出



H24(2012)年1月25日

鼓膜麻酔 顕微鏡下処置

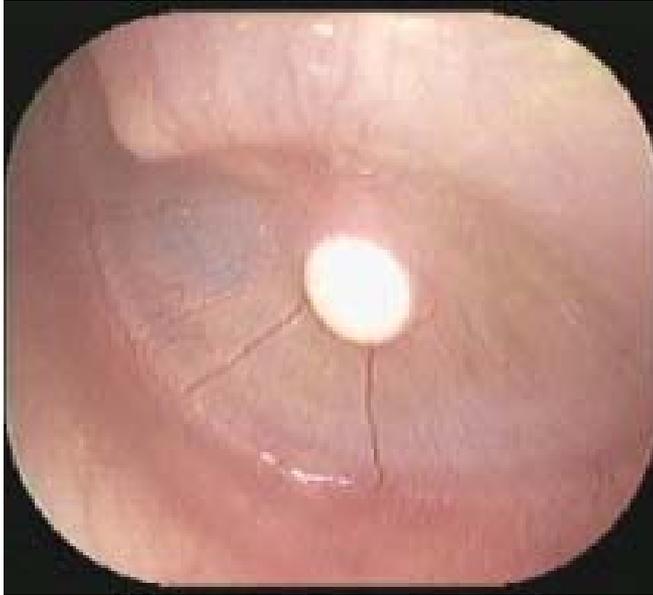
45度微小ピックで真珠腫塊摘出 (直径約2mm)

残存皮膜を微小鋭匙鉗子で除去

ボスミンキシロカイン小綿球で圧迫止血



術前



術後



局所所見 良好

病理診断 Keratin debris alone

微量の角質のみ

Vividな細胞は採取されていない

ま と め

- 1 鼓膜形成術(接着法)の施行件数は15例
一次閉鎖率は47%、保存グラフトなどによる補修
後の最終閉鎖率は87%でした。**
- 2 中耳CT検査では、慢性中耳炎、真珠腫、乳突洞炎、
アブミ骨固着症、鼓室硬化症、高位静脈弓症など
多彩な疾患を診断していました。**
- 3 真珠腫症例は、おもに他院へ手術紹介していますが
外耳道経由のアプローチが可能な症例は、当院で
治療をおこなえました。**